

会 議 録

令和8年3月2日調製

審議会等名	令和7年度 第4回 社会教育委員会議及び公民館運営審議会		
公開の別	全部公開		
開催日時	令和8年2月19日(木) 午後3時30分から		
開催場所	三条市中央公民館 3階 講義室	傍聴者	なし
		報道機関	なし
出席者氏名	委員 (9人) 佐藤隆司委員(議長)、若月 章委員(副議長)、 飯塚房子委員、其部桂子委員、小川恵子委員、三沢恵美子委員、 駒形広美委員、佐藤 互委員、宮島 健委員 (欠席委員: 山宮 尚委員、倉品 章委員、近藤雅哉委員、 永桶康子委員、佐藤ゆかり委員、大縫広志委員)		
	職員等 (4人) 小林生涯学習課長兼中央公民館長兼栄公民館長兼下田公民館長、 長田生涯学習課課長補佐兼嵐南公民館長兼三条東公民館長、 泉田生涯学習推進係長兼中央公民館主査、熊倉主任		
議 題	(1) 第3次生涯学習推進計画(令和7年度中間報告)について		
	(2) 第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会について(参加報告)		
	(3) その他		
会議内容			
泉田係長	令和7年度第4回三条市社会教育委員会議及び公民館運営審議会を開会する。開会に先立ち、三条市生涯学習課長の小林が挨拶申し上げます。		
小林課長	<挨拶>		
泉田係長	三条市社会教育会議運営規則第2条及び三条市公民館運営審議会規則第2条に基づき、この後の進行は佐藤議長に願います。		
佐藤議長	本日、委員15名のところ、山宮委員、倉品委員、近藤委員、永桶委員、佐藤ゆかり委員、大縫委員の6人が欠席だが、委員の過半数を超えているので、これより令和7年度第4回社会教育委員会議及び公民館運営審議会を開会する。委員それぞれが日頃思っていることを様々な角度から意見をいただきたい。 それでは「議題1 第3次生涯学習推進計画(令和7年度中間報告)」について、事務局に説明をお願いする。		

泉田係長	<説明>
佐藤議長	この件について何か意見はないか。
宮島委員	嵐南公民館の廃止事業にある「ボクシングでエクササイズ」について、なぜボクシングが選ばれてそこから何を得ようとしたのか教えて欲しい。
泉田係長	4年間開催して多数参加いただいたので、令和6年度に廃止となった。市内に勤務している経験者がいて、講師を依頼した。
宮島委員	これに変わる新規の講座は何か。
泉田係長	11番「蓮の葉とお花づくり」という手芸の講座をやる。
小林課長	普通のボクシングではなく、ボクササイズという身体を動かす有酸素運動で、ボクシングのフォームをしながらリズムに乗ってエクササイズをするという健康志向の事業だ。
宮島委員	承知した。
駒形委員	井栗公民館の出張講座は、映画鑑賞やバルーンアートとあるが、どういった所に出向くのか。
五十嵐井栗公民館長	出張依頼を受け、三南視聴覚ライブラリーからフィルムを借りて集会所等で上映する。バルーンアートについても同じである。
駒形委員	講師はどのように決定しているか。
五十嵐井栗公民館長	他の地区の方だがバルーンアートができる方をお願いしている。
若月副議長	中央公民館の新潟大学連携成人大学講座を2回開催しているが、内容がわからない。参加者数も延べ36人で、市民に関心の高いテーマを選んで実施していると思うが少ないと感じる。どのようにテーマを決めているのか。新潟大学連携は続けると共に、地元の学校も利用してはどうか。他の講座と一緒にやる等の工夫をしてみてもどうか。
泉田係長	10月と12月の2回行っており、「新しい薬はどう生まれるのか」をテーマに研究や患者のもとへ薬がどうやって作られるか、臨床試験の仕組み、また、その仕事の解説をするという内容の講座だった。

小林課長	<p>テーマは、公民館講座の参加者アンケート等から選考しており、健康系は興味を持たれている方が多く、毎年新潟大学から来る派遣リストから講師を依頼している。今回は指摘のとおり参加者が少なかった。また、せっかく地域に大学があるので、来年度以降は三条市立大学との関わりも検討の参考にしたい。</p> <p>指摘のとおりで、地域の大学との連携や講師派遣も活用していきたいと思っている。例えば、中央公民館という施設を使うことだけが中央公民館事業と考えておらず、三条市立大学の共和松井ホールを会場に、中央公民館の出張講座を行うなど、前向きに検討していきたい。</p>
佐藤議長	<p>続いて図書館、歴史民俗産業史料館、諸橋徹次記念館の順で説明をお願いします。</p> <p>&lt;説明&gt;</p>
佐藤議長	<p>この説明について、意見はないか。</p> <p>三条市のことを学ぶため、歴史民俗産業資料館に学校の先生がよく来ているが、1年間の展示内容を学校に配付しているのか。</p>
岡館長	<p>年間予定を配付している。学校から要望をもらう事もあるが、その時点での展示内容を伝え、館内の展示に合わせて説明している。</p>
佐藤議長	<p>他にないようなので、第3次生涯学習推進計画（令和7年度中間報告）については以上とする。</p> <p>続いて、第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会の参加報告だが、私が参加して来た。社会教育委員がどういった事しているのか、他の地域の事例発表を聞いてきた。分科会は海老名市の発表で、子供事業、大人事業、合同でやる事業があり、社会教育委員がチラシを作って、自分の所属する団体などに配布するという内容だった。イベントを広く市民に周知するという、すごい事をやっていた。社会教育委員会会議は年に6回も開催しており、進んでいるところだと思った。</p>
泉田係長	<p>11月の2日間、神奈川県に行ってきた。1日目の記念講演は、ひるおびの木曜コメンテーターで2020パラリンピックの閉会式で総合演出をされた方で、大人になってから障がい者となったが、もと</p>

	<p>もと芸術を学んでいて、イベントや舞台に関わっていきたくて思っていたところ、タイミングよくパラリンピックに関わることができた。障がいのある方はひとりひとり特性があるので、伴走をしながらやっていく人、全体を見るディレクション、伴走する人以外のサポートする人の三角形がうまく回らないとダメだという話だった。2日目の分科会は、人口約1万人の栃木県市貝町の発表で、毎年、高校生が独自に実行委員会を作って事業を決めながら40年間細々と続けてきており、子ども達が無理のない範囲でやれるよう、大人や行政が支援してきた。音楽フェスをやることになった時、高校生だけではできず、そこは行政職員が力を入れた。みんなが同じ方向を向いてやった事が成功につながった。両日の話は共通しており、みんなが同じ目線で、同じ方向を向いているということが必要だと感じた。戻ってきて業務につなげたいと思った。</p>
佐藤議長	<p>追加で1点。海老名市の社会教育委員は議長、副議長ともに女性であった。発表者の2人も女性だった。PTAを一生懸命やっていた方が社会教育委員になった事例だ。</p> <p>次、その他について事務局に説明をお願いします。</p>
長田補佐	<p>&lt;公民館の現状について、説明&gt;</p>
佐藤議長	<p>この件はハードの部分が一番ネックとなっている。今後検討に入るので、今回は質問意見等はなしとする。</p> <p>最後に事務局から何かあるか。</p>
泉田係長	<p>今年度は今回が最後の開催となる。次回については新年度に入ってから案内する。</p>
佐藤議長	<p>本日用意された議題について、無事終了することができた。スムーズな進行に協力いただきまして感謝する。なお、本日の社会教育委員会議及び公民館運営審議会の記録において、生涯学習課職員が作成した記録に基づき、私と事務局が確認の上、会議録として調製するので了解願う。</p> <p>以上で本日の会議を終了する。</p>